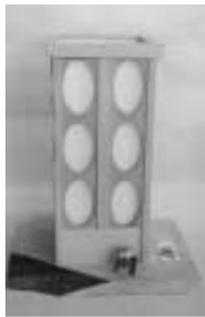


各部優秀賞 (6点)

大人の部 「マイウッドライト」

坂野 徳三郎さん(紋別市)



【講評】

和室で布団を敷いて寝る際に置いておきたいと思わせる趣(おもむき)のある作品です。素材のヒノキの白い木肌を上手に生かしているほか、厚く加工し、殺虫、脱臭力などの効力も生かしています。

子供シニアの部 「ペント」



武井 彰さん
(津別町)

【講評】

同じパーツを上手に組み合わせた創造性が発揮された作品。左右のバランスもよく、丁寧に作り上げています。

子供ジュニアの部 「華にかこまれたくじゃく」



濁沼 華奈さん(津別町)

【講評】

子供らしい作品。パステル調の色使いも美しく、快適な感じを与えてくれます。この色彩感覚を持ち続けてほしいと思います。

大人の部 「花ピン」

鈴木 克美さん(北見市)



【講評】

上方に向かい徐々に大きさが広がるなどの工夫のほか、幾何学的デザインが印象的です。色のコントラストもきれいで、和室との相性も良いと思います。

子供シニアの部 「EX-Kガンダム」



【講評】

作成に相当な時間を要したと思います。よく作り上げたなと感心します。

山田 崇生さん(津別町)
松木 憲一さん(津別町)
岩崎 勝悟さん(津別町)

子供ジュニアの部 「鹿と人形」



長良 樹里香さん
(津別町)

【講評】

手工具を巧みに使い、しっかりとした作品となっています。素材の持ち味を生かし、バランスよく作り上げているほか、造形的にも優れています。

大人の部 最優秀賞 「花」

【講評】

パッと見ると図柄を貼り付けたように感じますが、日本伝統の象嵌(ぞうがん)という技術を駆使した作品です。図柄の板の厚さは8mm程で、象嵌の技術は相当のレベル。神業といっても過言ではありません。花を表現する造形力も秀でていますし、色彩感覚にも優れています。和室を飾るにふさわしい完璧な作品です。



守屋 茂さん(埼玉県八潮市)

子供ジュニアの部 最優秀賞 「本立て」



才川 智希さん(津別町)

【講評】

かわいいイルカが目を引きま。親子イルカの姿が微笑ましく温もりのある作品になっています。心を和ませてくれます。

審査員特別賞 (3点)

大人の部 「花」



【講評】

流木を上手に生かした素朴な作品ですが、美しさを感じさせます。細かな細工に感動を覚えます。

鈴木 真理さん(北見市)

大人の部 「遊舞」

村上 章さん(宮城県大崎市)



【講評】

この発想力がすごいです。くるくる回るタコなど、小物のユニークな動きがなんともかわいらしい。力作です。

大人の部 「夫婦杯」



【講評】

美しい杯です。確かな手加工技術、造形力は芸術の域に達しています。

木村 充さん
(岡山県吉備中央町)

子供シニアの部 最優秀賞 「くるくる本棚」

前田 智規さん(津別町)

【講評】

機能性と実用性に富んだ作品です。両側の壁の部分を斜めにカットし、本を取り出しやすくしているほか、細部も丁寧に仕上げられています。



愛林のまち・津別町の木工展覧会「2009ウッドクラフト展」12回目となる今回のテーマは「和室を彩る木の用品」です。今回は全国各地からテーマに沿った38点の作品が寄せられました。審査の結果、入賞した12点の作品をご紹介します。

子供ジュニアの部…小学4年生以下
子供シニアの部…小学5年生以上